

旅どころピックアップ

数ある見どころの中から「五智国分寺」周辺をピックアップしました。

【五智国分寺と親鸞聖人の旅】

五智如来を安置する国分寺のあたりをまちの人たちは「五智さん」と親しみをこめて呼びます。また親鸞聖人の旧跡でもあるこの地は、中世の面影を色濃く残しています。

さて、この旅を五智国分寺から始めましょう。

現在の位置にある国分寺は、永禄5年(1562)に上杉謙信公が再興したものといわれ、それ以前の国分寺についてはなぞのまです。

まず①山門をくぐります。天保6年(1835)に建立されたもので、立木の姿のままの柱はあまり例がありません。門に立って目の前に見える②本堂は昭和63年に焼失し、10年の歳月をかけて総檜木造り、鎌倉時代の様式によって再建したもので、工法も「ちょうな」や「やりがんな」などの古代からの道具が使われました。

③三重塔は安政3年(1856)に着工したもの、今だに未完成のまです。新潟県に三つある塔の一つで県の文化財に指定されています。

④経蔵(市文化財)は元禄6年(1693)の棟札があり、市内最古の建物。経蔵土台の緑がかった石は、北前船で運ばれて来た笏台石です。並んで建っているのは、白山神社の神輿のお旅所。

梵鐘は世界で唯一のステンレス製。舌越調の音が響きます(鐘楼は仮設)。

本堂の右手は親鸞聖人の配所竹之内草庵跡。聖人が自ら姿を写して刻んだという⑤聖人像(市文化財)が安置されています。

裏門を出ると聖人が姿を写したという鏡ヶ池。左へ行けばやがて⑥親鸞聖人上陸の地です。

承元元年(1207)専修念仏禁止により、聖人は越後国府へ流罪となり、この居多ヶ浜に上陸したと伝えられています。聖人像を安置する見真堂や親鸞聖人の七不思議の一つ片葉の葦などがあり、展望台から日本海の夕日を眺めれば、聖人の昔を偲ぶことができます。

上陸の地を後にして南へ坂を下ると、代々領主の厚い保護を受けた越後一の宮⑦居多神社です。室町時代の木造狛犬は市文化財。

その先の山上には白山神社、上杉謙信公奉納の軍配(市文化財)がある愛宕神社があります。

池をめぐって通りへ出ると、⑧本願寺国府別院です。親鸞聖人が竹之内草庵から移り住んで妻惠信尼と暮らした竹ヶ草庵のあった所。

本尊阿弥陀如来と聖人の像が並んで安置されている本堂(市文化財)は、文化2年(1805)創建。内陣の彩色や彫刻は目を見はせます。

⑨光源寺は建暦元年(1211)聖人の弟子最信によって開かれたと伝えられ、罪を許された聖人が描いたという自画像「御満悦の御影」を安置して国府御影堂、国府御坊と呼ばれてきました。御影堂と本堂が併設されているのは聖人の旧跡ならではのもの。

光源寺の裏の道を国分寺方向へしばらく歩くと、聖人が使ったと伝えられる「養爺清水」が今も湧き出ています。

(※徒歩 約1.5時間 移動距離 約2.5km)



①五智国分寺 山門



②五智国分寺 本堂



③五智国分寺 三重塔



④五智国分寺 経蔵



⑤伝親鸞聖人坐像



⑥親鸞聖人上陸の地



⑦居多神社



⑧国府別院



⑨光源寺

《ミニ人物伝》

親鸞聖人

浄土真宗の開祖。承元元年(1207)専修念仏禁止により、35歳で越後国府へ流罪となりました。流人として5年、その後2年間を妻の惠信尼とともにこの五智周辺で過ごします。聖人の著作に「海」という言葉が多いのは、日本海を見つめた日々が影響しているといわれています。建保2年(1214)常陸国へ旅立っていきました。弘長2年(1262)90歳で京都に没しました。



おすすめさんぽコース

親鸞聖人ゆかりの旅

親鸞聖人上陸の地→居多神社→五智国分寺・竹之内草庵→光源寺→国府別院→(車:10分)→浄興寺(高田寺町)→(車:20分)→糸しの里記念館(板倉区)(徒歩・車:4時間)

謙信公ゆかりの旅

五智国分寺→居多神社→浜善光寺(十念寺)→府中八幡宮→御館跡(御館乱の跡)→ものがたり館・春日山城史跡広場→春日神社→林泉寺→春日山神社→春日山城跡(徒歩・車:4時間)

「陸」は「海」の対義語
「陸」は「海」の対義語
「陸」は「海」の対義語



直江津さんぽモデルコース

三・八朝市・親鸞聖人上陸の地コース

美しい海岸線を眺めながらの散策コース。港町特有の風情と人情に触れられる伝統の朝市も魅力。

安寿と厨子王供養塔→ライオン像のある館→三・八の市→琴平神社→赤い蠟燭と人魚像→水族博物館うみがたり→親鸞聖人上陸の地→居多神社→五智国分寺

(所要時間/3時間 移動距離/約4km)

福島城跡・府中八幡宮・五智国分寺コース

港町の物語を堪能できる散策コース。古来語り継がれた逸話や交流文化の薫りを感じながら歩く。

直江津橋→福島城跡→平和記念公園→安寿と厨子王供養塔→琴平神社→ライオン像のある館→観音寺→水族博物館うみがたり→府中八幡宮→十念寺→親鸞聖人上陸の地→居多神社→五智国分寺

(所要時間/3時間50分 移動距離/約5km)

府中八幡宮・五智国分寺・国府別院コース

いにしへの越後国府をゆったりと歩く。親鸞聖人や謙信公ゆかりの地などを散策するコース。

府中八幡宮→水族博物館うみがたり→十念寺→親鸞聖人上陸の地→居多神社→五智国分寺→国府別院→御館跡

(所要時間/3時間10分 移動距離/約4.5km)

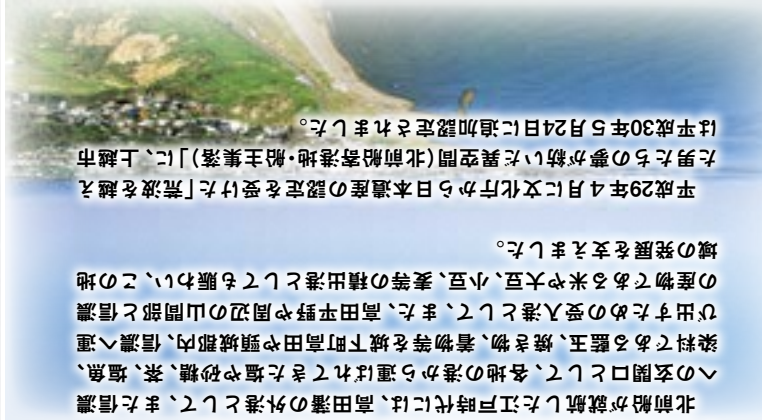
観光のお問い合わせ先

上越市 TEL.025(526)5111
(公社)上越観光コンベンション協会 TEL.025(543)2777
上越妙高駅観光案内所 TEL.025(512)6016
高田駅前観光案内所 TEL.025(521)5140
直江津駅前観光案内所 TEL.025(539)6515

2022.3発行

日本遺産北前船 今町湊直江津

日本遺産
荒波を越えた男たちの
夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～



域の発展を支えました。

の産物である米や大豆、小豆、麦等の積出港としても賑わい、この地を出入りする人達として、また、高田平野や周辺の山間部と信濃の産物である漆、焼き物、着物を城下町高田町や頸城郡内、信濃へ運ぶの玄関口として、各地の港から運ばれてきた塩や砂糖、茶、塩魚、北前船が就航した江戸時代には、高田藩の外港として、また信濃から大きな後援地を持つ西条藩として栄えていました。

の財政を支える港として手厚く保護されるなど、北前船の就航以前は三津七湊のうち七湊の一つに名を運ね、上杉謙信公の時代にはそある「廻船式目」において、当時の日本で十を数えた大きな港を表わ直江津(今町湊)は、室町時代に成立した日本最古の海洋法規模で地を販売しており「動く総合商社」と例えられています。

日本海沿岸諸港と、下関・瀬戸内海を経由して大阪を往来する西回り航路の廻船(商船)のことです。日本経済を支える大動脈として、米や海産物、酒、衣類、紙、塩など多種多様な商品が運搬されています。物資の輸送だけでなく、寄港地で仕入れたものを別の寄港



港町、直江津

さんぽ



上越観光Navi

港町、直江津
さんぽ

直江津物語の旅 NAOETSU MAP



上越市立水族博物館うみがたり TEL:025-543-2449
飼育数日本一のマゼランペンギン、バンドウイルカのパフォーマンス、個性豊かな生物など、魅力あふれる水族館です。



祇園祭
祇園祭(上越まつり) 7月23日～29日
松平忠輝公の高田城築城以来、八坂神社の神輿が出張して祭りの半分を高田で行うようになりました。26日夜、関川を船で神輿が運御。河口では花火大会が行われる。翌27日からは直江津町内の屋台がまちを巡行。29日夜、屋台に積まれた俵を勇壮に神社奉納するお餅米(おせんまい)奉納が行われます。
「直江津・高田祇園祭の御旅所行事と屋台巡行」として県の文化財に指定されています。

には日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の上越市のストーリーを構成する文化財があります。

距離のめやす



10円玉1コが300mです

加賀街道から少し足をのばすと、



春日山城跡



春日山神社



五智公園・交通公園
バードウォッチングや植物観察もでき、春には八重桜が見ものです。交通公園にはゴーカートがあり、SLも展示されています。



なおえつ海水浴場
家族づれで楽しめる穏やかな海。もちろんマリンスポーツや海浜キャンプもできます。



十念寺(浜善光寺)
上杉謙信公が武田信玄から長野善光寺を守るために移したと伝えられています。本堂には善光寺と同じく戒壇めぐりがあり、境内には付近一帯の善光寺浜から出土した石造物が並べられ、鎌倉時代の五輪塔は市文化財となっています。



海洋フィッシングセンター



五智国分寺三重塔



夕焼けの海岸



海浜公園



上越市立水族博物館 うみがたり JOETSU AQUARIUM

日本海の夕日がとても美しい!



海洋フィッシングセンター



明静院(大日如来)

明静院

国重文大日如来



国分寺本堂

白山神社のお旅所

経蔵

越後一の宮 居多神社

白山神社

愛宕神社

五智公園

交通公園

加賀街道

国府

親鸞聖人の柳清水

加賀

妙高はねうらライオン

山麓線

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑

船見公園

ライオン像のある館 (旧直江津銀行)

琴平神社 芭蕉の句碑

佐渡汽船ターミナル (展望室)

福島城跡

佐渡汽船ターミナル展望室 直江津港が一望できる。

保倉川

春日新田

R253

JR信越本線

下源入

至北陸自動車道 上越IC

R18

R8

関川大橋

御館跡(御館公園)

御館の乱の舞台 御館跡

足利尊氏発願の 安国寺跡

新潟労災病院

御館川

石橋

直江津駅

直江津D51 レールパーク

中世越後の中心 伝至徳寺跡

直江津南小

直江津小

直江津のヘソ 「直江津町道路元標」

井田年之介生家跡

林芙美子文学碑

7月26日夜、神輿があがる

三とハの日に朝市がある 名物は「ドラ焼」

安寿と厨子王 供養塔

芭蕉が訪れた 聴信寺

三・ハの市

赤い蠟燭と人魚像

与謝野晶子歌碑